

令和6年6月25日（火曜日）

予算決算委員会全体会

議会会議室

出席委員

委員全員（45人）

予算決算委員会付託議案

- ・議案第60号 令和6年度姫路市一般会計補正予算（第2回）
- ・議案第61号 令和6年度姫路市奨学学術振興事業特別会計補正予算（第1回）

再開

9時56分

分科会長報告について

9時56分

経済観光分科会長報告

議案第60号、令和6年度姫路市一般会計補正予算（第2回）のうち、経済観光分科会関係については、特別な体験の提供等によるインバウンド消費の拡大・質向上推進事業についてであります。

本事業は、令和5年度に実施した観光再始動事業の実績を踏まえて観光庁に申請し、令和6年5月30日付で採択案件として内定されたものであり、その内容は、夜間の姫路城を活用したツアーや日本刀講座、書寫山圓教寺を住職が案内するプライベートツアー、精進料理と書写塗の体験や宿泊体験のほか、市立美術館の閉館時間に学芸員が案内するプライベートツアーを企画・造成・販売するものであります。

分科会において、海外の富裕層を対象としたこれまでのツアーと同様に姫路城や書寫山での体験コンテンツが中心となっているが、それ以外に日本料理店でのそば打ちや酒蔵での日本酒造りなど海外ではできないような体験コンテンツを盛り込んだ企画は検討していないのか、との質問がありました。

当局の答弁によりますと、海外の富裕層に売り込んでいくためには、姫路城や書寫山に関係した体験コンテンツが必要であると考えており、そのようなものがなければ、観光庁の委託事業としても採択されにくい。また、観光庁からは次年度以降も継続的に実施できる内容が求められており、それらを考慮して企画している、とのことであります。

これに対して、委員から、購入者がいなかった令和5年度の観光再始動事業等において、外国人富裕層向け宿泊施設の不足など、本市の抱える課題は明らかに

なっている。それらの経験を生かし、創意工夫をしながらこのたびの事業にしっかりと取り組まれない、との意見がありました。

建設分科会長報告

議案第60号、令和6年度姫路市一般会計補正予算（第2回）のうち、建設分科会関係については、都市計画道路広畑幹線ほか一路線の橋梁工事に関する増額補正についてであります。

同工事は、渇水期に工事用車両を河川内に乗り入れて橋脚を整備するもので、工事用車両進入路造成用の盛土材を旧南部美化センターの敷地に仮置きしていたところ、本年3月に同敷地が新美化センターの建設予定地として決定され、令和6年度中に土壤汚染調査が実施されることを受け、早急に盛土材を移動させる必要が生じたことから、盛土材の移動にかかる経費として3,000万円を増額するとともに、財政調整基金から同額を繰り入れることとしております。

分科会において、土木費の予算執行率は例年70パーセント程度であり、余裕があるように思われるが、なぜ財政調整基金から繰入れしてまで3,000万円の増額補正を行うこととしたのか、との質問がありました。

当局の答弁によりますと、同工事の予算科目における執行見込額を精査した上で財政局と協議した結果、増額補正が必要という判断に至ったものである、とのことでありました。

これに対して、委員から、財政局と十分協議した上で出された結論であり、仮置きしていた盛土材を移動させざるを得なくなるという不測の事態に対応するための適切な判断であると思われる。

今後も、交通量に比して道路基盤が脆弱な広畑地区においては同工事の早期完了が望まれることから、工事が遅延することのないよう、引き続きしっかりと対応されたい、との意見がありました。

総務分科会長報告

議案第61号、令和6年度姫路市奨学学術振興事業特別会計補正予算（第1回）について申し上げます。

本補正予算は、尾上学術振興助成事業費を500万円増額し、同事業に係る産学協同研究助成金の対象件数を6件から8件に拡大するとともに、学術振興費における剰余金204万円を奨学学術振興基金に積み立て

るものであります。

分科会において、グローリー株式会社の株式配当が当初の収入見込み額を大幅に上回ることから産学協同研究助成金の対象件数を増やすとのことであるが、令和 5 年度の申請についてはどのような状況だったのか。

また、助成した協同研究の成果についてどのように確認しているのか、との質問がなされました。

当局の答弁によりますと、令和 5 年度の申請件数は 9 件であり、そのうち 7 件に対して助成を決定している。また、産学協同研究助成選考委員会において前年度の研究内容について報告を受け、その成果を確認している、とのことでありました。

これに対して、委員から、市内の大学と播磨圏域連携中枢都市圏に所在する企業の協同研究に対してしっかりと支援するとともに、研究成果をきちんと確認するよう取り組まれない、との意見がありました。

分科会長報告に対する質疑 10時05分

質疑なし

付託議案審査について 10時06分

・議案第 60 号及び議案第 61 号については、いずれも全会一致で可決すべきものと決定。

委員長報告について 10時07分

・正副委員長に一任することに決定。

令和 6 年度姫路市卸売市場事業特別会計補正予算(第 1 回)について 10時08分

農林水産環境局 10時08分

説明

・令和 6 年度姫路市卸売市場事業特別会計補正予算(第 1 回)

質問 10時16分

(質問)

今回の追加処分に係る補正予算は、やむを得ない事情により計上したと考えてよいのか。

(答弁)

旧姫路市中央卸売市場解体撤去工事を施工するに当たり、既設図面や現地調査で確認した上で、地中埋設物及びアスベスト含有建材の量を見込んでいた。

しかしながら、解体工事直前まで同市場が営業しており、事前に確認ができなかった部分があったため、今回、工事を施工してから確認できたものについて、補正予算を計上したものである。

(質問)

撤去処分費 3 億 7,400 万円について、今回確認された追加処分費用に加えて、今後想定される処分費用も合わせて計上しているのか。

(答弁)

様々な検査や試掘を行い、地中埋設物等があると想定される部分についても今回処分費用を計上している。そのため、今後新たに処分費用がかかることはないと考えている。

農林水産環境局終了 10時17分

閉会中継続調査について 10時17分

・別紙のとおり閉会中も継続調査すべきものと決定。

正副委員長退任挨拶 10時18分

閉会 10時19分